

科目名	日本赤十字社救急法B							年度	2026
英語科目名	Japan Red Cross First Aid B							学期	通年
学科・学年	スポーツトレーナー科三年制 2年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	日本赤十字社救急法救急指導員	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本赤十字社救急法救急指導員		

**【科目の目的】**

資格の意義を理解し、事故の防止に努めるとともに、怪我人や急病人に対して救急法を実践する知識と技術の習得を目的とします。また怪我人や急病人に対してだけでなく、病気や事故、災害などから自分自身を守り二次事故（災害）を起こさぬ行動ができる人材を育成します。そして日常生活において、心停止の予防はもちろん、事故や災害時に状況を迅速に判断し、スムーズな救命が行える知識と技術の獲得が目的です。

**【科目の概要】**

日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。

**【到達目標】**

日本赤十字社救急法救急員の資格取得を目指します。一次救命処置から始まり、きず・骨折の手当など、日常生活で起こりうる事故や災害時の正しい対処や処置の方法を習得します。また自分自身においても二次事故（災害）の被害にあわないよう状況判断や、的確な指示をするための知識や技術の獲得を目指します。

**【授業の注意点】**

授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取りないようにします。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し
到達目標 A	理論を十分に理解し、覚え、試験合格		理論を理解し、覚え、試験合格		理論を理解し、概ね覚え、試験合格
到達目標 B	基礎技術がしっかり身に付き、試験に合格		基礎技術が概ね身に付き、試験に合格		基礎技術が分かり、試験に合格
到達目標 C	授業内容を十分理解し、覚え、自信を持って実践できる		授業内容を十分理解し、概ね実践できそう		授業内容を概ね実践できそう
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**

赤十字救急法基礎講習教本、赤十字救急法講習教本

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**

筆記試験・実技試験

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		日本赤十字社救急法B			年度	2026
英語表記		Japan Red Cross First Aid B			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	救急法とは	救急法全体の理解	1 日本赤十字社とは	日本赤十字社の活動理解	1	
2	手当とは	手当の理解	1 手当とは	手当の基本	1	
3	一次救命処置	一次救命処置の理解	1 一次救命処置について	一次救命処置の理論・実技	2	
4	一次救命処置	一次救命処置の理解				
5	一次救命処置	一次救命処置の理解				
6	一次救命処置	一次救命処置の理解				
7	一次救命処置	一次救命処置の理解				
8	一次救命処置	一次救命処置の理解				
9	一次救命処置	一次救命処置の理解				
10	応急手当	応急手当の理解	1 応急手当とは	応急手当の理論・実技	2	
11	搬送	搬送の知識	1 搬送とは	搬送の理論・実技	2	
12	急病・怪我	急病・怪我の対応について	1 急病・怪我の対応	急病・怪我の知識・実技	2	
13	救護	救護の理解	1 救護の対応	救護の知識・実技	2	
14	まとめ	救急法全体の整理	1 今までのまとめ	今までのまとめ（理論・実技）	2	
15	まとめ	救急法全体の整理				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等